



小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
魚の卵の成長 / 理解シート

## ヒメダカとクロメダカのちがいは、なんなの



クロメダカは野生のメダカ、ヒメダカは飼育して売っているメダカで、もとは同じメダカだったんだよ。

**メダカは、日本全国の小川や田んぼなどにいた**

メダカは、少し前までは、日本全国の小川や田んぼ、池などでふつうに見られましたが、今では数がへり、ぜつめつするかもしれないといわれています。

小川などにいる野生のメダカは、黒っぽい色をしているのでクロメダカとよぶこともあります。ペットショップや熱帯魚屋などで売っているメダカは、黄色っぽい色をしていて、ヒメダカとよばれています。

ヒメダカは、野生のメダカを飼っているうちに、たまたま黄色っぽいメダカが生まれてきたものを、どんどんふやしてきたのです。ですから、体色がちがうだけでクロメダカと同じものです。人工的にふやし育てているので、野生のメダカにくらべて、同じ成長ぐあいのたくさんのメダカを、すぐそろえることができます。

**メダカとまちがえやすい、カダヤシに気をつけよう**

東北地方や北海道以外のあたたかい地方で、メダカがいなくなってしまった川や池に、メダカにそっくりのカダヤシという魚がいることが多いので、まちがえないようにしましょう。

カダヤシは、ボウフラ（カの幼虫）を食べるということで、海外から日本の川につれてこられた魚です。メダカと体の大きさや生活がにいていて、生活力がメダカより強かったため、メダカがぜつめつさせられた川や池が多いといわれています。

カダヤシは、たまごでなく子魚を産むので、魚のたまごを観察する実験には使えません。

もっと知りたい人へ：「メダカをは、なぜ見られなくなってしまったの」も見てみよう。